

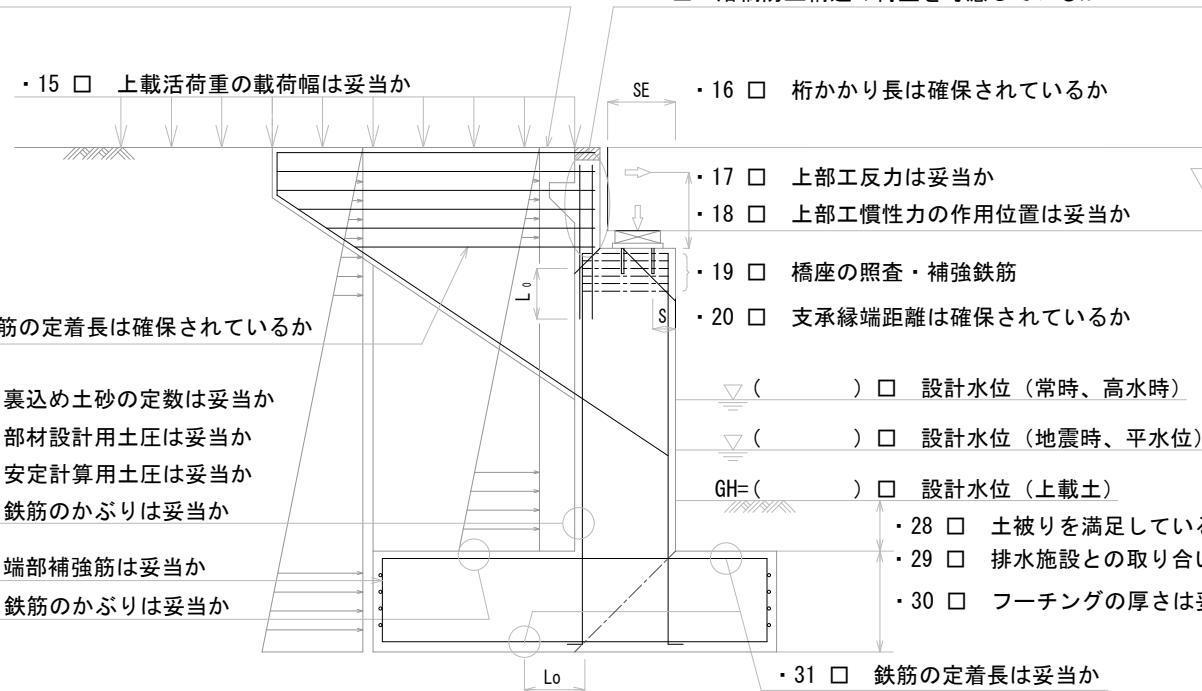
# 橋台のチェックポイント（その1）

令和7年8月版

## 【基本条件の照査】

側面図

- ・1  鉄筋のフック及び曲げ形状は妥当か
- ・2  中間帯鉄筋の継手長（40φ以上）は妥当か
- ・3  中間帯鉄筋の組方は妥当か
- ・4  スターラップの組方は妥当か
- ・5  橋台全高さは妥当か
- ・6  盛土形状との取り合いおよび土被りは妥当か
- ・7  構造モデルの設定は妥当か（片持版、2辺固定版）
- ・8  ウィング長は妥当か
- ・9  ウィング厚が厚い場合の部材照査、補強筋配置は行われているか
- ・10  パラペットの高さは妥当か
- ・11  踏掛版を考慮しているか
- ・12  落橋防止構造の荷重を考慮しているか
- ・13  鉄筋のかぶりは妥当か
- ・14  翼壁鉄筋との関係は妥当か



- ・21  水平方向主鉄筋の定着長は確保されているか

- ・22  裏込め土砂の定数は妥当か
- ・23  部材設計用土圧は妥当か
- ・24  安定計算用土圧は妥当か
- ・25  鉄筋のかぶりは妥当か
- ・26  端部補強筋は妥当か
- ・27  鉄筋のかぶりは妥当か

- ・15  上載活荷重の載荷幅は妥当か
- ・16  桁かかり長は確保されているか

- ・17  上部工反力は妥当か
- ・18  上部工慣性力の作用位置は妥当か
- ・19  橋座の照査・補強鉄筋
- ・20  支承縁端距離は確保されているか

- ( )  設計水位（常時、高水時）
- ( )  設計水位（地震時、平水位）
- GH=( )  設計水位（上載土）

- ・28  土被りを満足しているか
- ・29  排水施設との取り合いは確認したか
- ・30  フーチングの厚さは妥当か

- ・31  鉄筋の定着長は妥当か

- 直接基礎の場合
- ・32  支持力は制限値を満足しているか  
地盤反力度の制限値は適切か
  - ・33  転倒に対して安全であるか
  - ・34  滑動に対して安全であるか

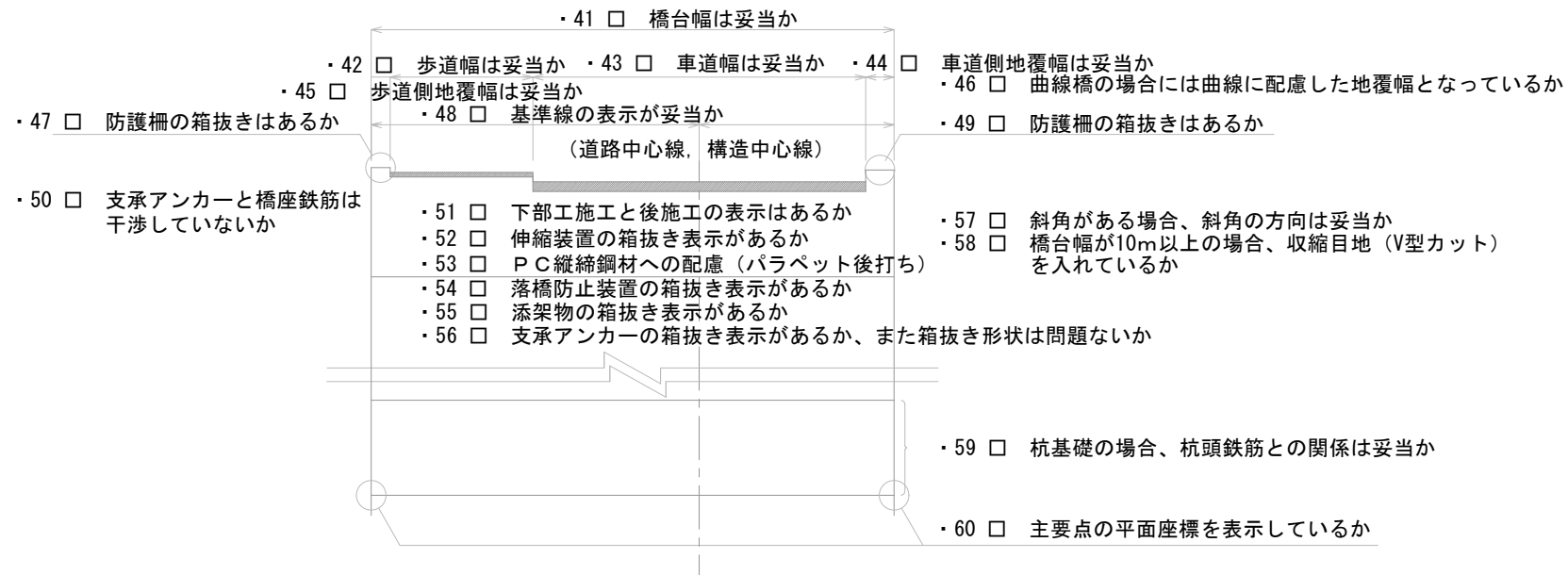
- 杭基礎の場合
- ・35  支持力は制限値を満足しているか  
極限支持力度の特性値は適切か
  - ・36  設計地盤面での変位は制限値を満足しているか
  - ・37  杭体応力度は制限値を満足しているか
  - ・38  杭の支持層への根入れは適切か
  - ・39  軟弱地盤の場合にはオールケーシング工法以外の基礎工法の適用の検討は必要ないか
  - ・40  杭基礎（柱状体深礎基礎を除く）の場合は、複数列の組杭構造とするのが望ましい

番号	確認	確認日	確認資料、チェック結果
照査項目の番号	照査項目に✓を記入	確認した日付を記入	確認できる資料の名称、頁等を記入、チェック結果を簡潔に記入（例）関連基準類、過年度成果の該当頁、妥当性判断の根拠等
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			
33			
34			
35			
36			
37			
38			
39			
40			

# 橋台のチェックポイント（その2）

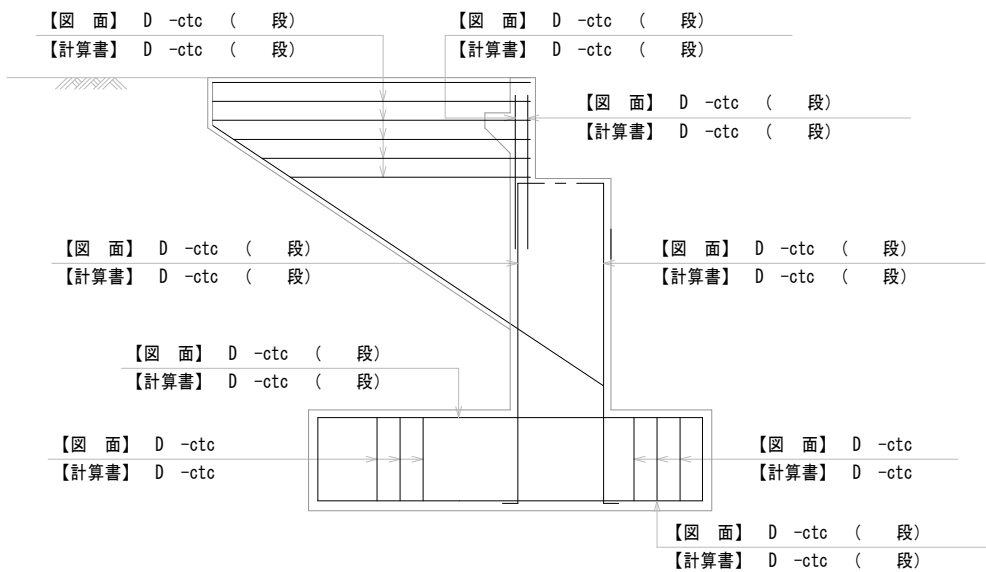
令和7年8月版

断面図



## 【設計計算書と図面の照査】

- ・61 □ パラペットの主鉄筋(軸方向筋)は、前面と背面の鉄筋を同一(径、間隔)としているか
- ・62 □ 堅壁の前面側鉛直方向鉄筋量は、背面側鉛直方向鉄筋量の1/2以上配置しているか  
但し、液状化が生じる地盤上の橋台においては、前面側鉛直方向鉄筋量は、背面側鉛直方向鉄筋量と同じとしているか
- ・63 □ 堅壁の配力鉄筋として、鉛直方向鉄筋量の1/3以上の水平方向鉄筋量を鉛直鉄筋の外側に配置しているか
- ・64 □ フーチングの圧縮鉄筋は、主鉄筋の1/2以上の鉄筋量を配置しているか
- ・65 □ フーチングの配力鉄筋は、主鉄筋及び圧縮鉄筋それぞれの1/3以上配置しているか
- ・66 □ 翼壁の鉄筋は計算書と整合が取れているか(計算区間)
- ・67 □ 設計計算書と図面の照合は取れているか
- ・68 □ 翼壁鉄筋の定着長は規定通り確保できているか(胸壁部と堅壁部)



## 【その他】

- ・70 □ 地盤傾斜等の条件によって橋軸直角方向の安定性の照査の必要はないか
- ・71 □ 橋台背面アプローチの設計は適切に行われているか。(橋台との連続性・安定性・排水性)
- ・72 □ 維持管理に配慮した形状としているか(排水勾配、橋台背面水抜き、点検空間の確保など)

※・69 □ コンクリート1m<sup>3</sup>当たりの鉄筋量は妥当か

番号	確認	確認日	確認資料、チェック結果
照査項目の番号	照査項目に✓を記入	確認した日付を記入	確認できる資料の名称、頁等を記入、チェック結果を簡潔に記入(例)関連基準類、過年度成果の該当頁、妥当性判断の根拠等
41			
42			
43			
44			
45			
46			
47			
48			
49			
50			
51			
52			
53			
54			
55			
56			
57			
58			
59			
60			
61			
62			
63			
64			
65			
66			
67			
68			
69			
70			
71			
72			

〔参考文献〕 道路橋示方書・同解説(日本道路協会) 平成29年11月

## 橋台のチェックポイント説明シート

令和7年8月版

項目	NO	チェック項目	留意点など
基本条件の照査	1	鉄筋のフック及び曲げ形状は妥当か	IV P72 道示に基づき算定 ※機械式定着鉄筋を使用する場合は確認
	2	中間帯鉄筋の継手長(40φ以上)は妥当か	V P146 前面と背面で配力鉄筋径が異なる場合は確認が必要
	3	中間帯鉄筋の組み方は妥当か	IV P75 フック形状の確認が必要(両側半円フックor片側半円フックor重ね継手)
	4	スターラップの組み方は妥当か	構造計算書と整合させ、鉄筋径および配置間隔の確認が必要
	5	橋台全高さは妥当か	計画高とフーチングの根入れ深さの確認(直設基礎、杭基礎)
	6	(ウイング)盛土形状との取り合いおよび土被りは妥当か	ウイング処理または擁壁処理とするかの確認、ウイング土被り1m程度確保できているか確認(NEXCO設計要領や道路土工参照)
	7	構造モデルの設定は妥当か(片持版, 2辺固定版)	橋台巻き込み形状による確認
	8	ウイング長は妥当か	IV P111 最大長8m以下、パラレルまたはフルウイングの確認
	9	ウイング厚が厚い場合の部材照査, 補強筋配置は行われているか	応力計算による確認
	10	(パラペット)パラペットの高さは妥当か	舗装厚、桁高(必要に応じて調整コン)、支承高(台座コン)の確認
	11	踏掛版を考慮しているか	IV P106 路線の重要度を確認 ※道路規格や軟弱地盤などL=8mとする場合があることに留意
	12	落橋防止構造の荷重を考慮しているか	IV P106 道示に基づき算定 ※踏掛版の有無の確認
	13	鉄筋のかぶりは妥当か	IV P71 道示で規定される最小かぶりの値の確認 ※塩害対策区分がある場合は確認
	14	翼壁鉄筋との関係は妥当か	パラペット定着鉄筋についてはパラペット側で決定されるため確認が必要
	15	上載活荷重の載荷幅は妥当か	IV P45 道示に基づき算定 ※図解3.5.5P54参照
	16	(上部工)桁かかり長は確保されているか	V P285 道示に基づき算定 ※直角方向および回転方向について確認が必要
	17	上部工反力は妥当か	上部工設計により算定された値を確認
	18	上部工慣性力の作用位置は妥当か	V P86 道示に基づき設定 ※発注者により異なる場合があるため確認が必要
	19	(支承)橋座の照査・補強鉄筋	IV P115 道示に基づき算定
	20	支承縁端距離は確保されているか	IV P115 道示に基づき算定
	21	(ウイング)水平方向主鉄筋の定着長は確保されているか	III P84 道示に基づき算定
	22	(裏込め土)裏込め土砂の定数は妥当か	構造計算の設定値の確認 ※発注者によって異なるため確認が必要
	23	部材設計用土圧は妥当か	I P115 道示に基づき算定
	24	安定計算用土圧は妥当か	I P115 道示に基づき算定
	25	(縦壁)鉄筋のかぶりは妥当か	IV P71 道示で規定される最小かぶりの値の確認 ※機械式継手を採用する場合は機械式継手端からの最小かぶりの値
	26	(フーチング)端部補強筋は妥当か	杭基礎設計便覧に基づき算定
	27	鉄筋のかぶりは妥当か	IV P71 道示で規定される最小かぶりの値の確認 ※機械式継手を採用する場合は機械式継手端からの最小かぶりの値
	28	土被りを満足しているか	交差条件(車道に近接か、歩道に近接か)や地形条件(平地か山岳か)の確認が必要
	29	排水施設との取り合いは確認したか	排水流末システムを確認しフーチングに干渉していないか留意
	30	フーチングの厚さは妥当か	IV P126 道示に基づき算定
	31	鉄筋の定着長は妥当か	IV P142 道示に基づき算定
	32	(直接基礎)支持力は制限値を満足しているか(地盤反力度の制限値は適切か)	IV P204 道示に基づき算定 ※耐荷性能に対する照査(限界状態1)
	33	転倒に対して安全であるか	IV P218 道示に基づき算定 ※耐荷性能に対する照査(限界状態1)
	34	滑動に対して安全であるか	IV P212 道示に基づき算定 ※耐荷性能に対する照査(限界状態3)及び変位の制限の照査
	35	(杭基礎)支持力は制限値を満足しているか(極限支持力度の特性値は適切か)	IV P237 道示及び杭基礎設計便覧に基づき設定 ※支持地盤が岩盤の場合、一軸圧縮強度 $q_u$ の値を確認
	36	設計地盤面での変位は制限値を満足しているか	IV P235 道示及び杭基礎設計便覧に基づき算定
	37	杭体応力度は制限値を満足しているか	IV P257 道示及び杭基礎設計便覧に基づき算定
	38	杭の支持層への根入れは適切か	IV P237 道示及び杭基礎設計便覧に基づき算定
	39	軟弱地盤の場合にはオールケーシング工法以外の基礎工法の適用の検討は必要ないか	IV P179 構造細目条件として確認 ※N値1以下の軟弱地盤において、杭頭付近で杭の細りが生じた事例有り
	40	杭基礎(柱状体深礎基礎を除く)の場合は、複数列の組杭構造とするのが望ましい	IV P179 道示及び杭基礎設計便覧に基づき設定 ※杭配置は複数列の組杭構造とするのが望ましい

## 橋台のチェックポイント説明シート

令和7年8月版

項目	NO	チェック項目	留意点など
(続き) 基本条件の照査	41	橋台幅は妥当か	幅員構成の確認 (道路設計と整合しているか)
	42	歩道幅は妥当か	基本条件として確認
	43	車道幅は妥当か	基本条件として確認
	44	車道側地覆幅は妥当か	基本条件として確認
	45	歩道側地覆幅は妥当か	基本条件として確認
	46	曲線橋の場合には曲線に配慮した地覆幅となっているか	構造細目条件として確認
	47	防護柵の箱抜きはあるか	構造細目条件として確認
	48	基準線の表示が妥当か	一般事項
	49	防護柵の箱抜きはあるか	構造細目条件として確認
	50	支承アンカーと橋座鉄筋は干渉していないか	干渉の有無を確認(支承アンカーの平面配置と橋座鉄筋配置間隔の確認)
	51	下部工施工と後施工の表示はあるか	一般事項(必要に応じて)
	52	伸縮装置の箱抜き表示があるか	一般事項 ※伸縮装置図と整合確認
	53	PC縦締鋼材への配慮(パラペット後打ち)	場所打ち桁の場合に確認(重ね継手or機械式継手等の確認)
	54	落橋防止装置の箱抜き表示があるか	一般事項
	55	添架物の箱抜き表示があるか	一般事項
	56	支承アンカーの箱抜き表示があるか、また箱抜き形状は問題ないか	一般事項 ※支承アンカー箱抜きは、アンカーボルト径dのとき、 $3 \times d$ かつ $d+100\text{mm}$ (H30支承便覧参照)
	57	斜角がある場合、斜角の方向は妥当か	一般事項 ※支承のセット方向に留意
	58	橋台幅が10m以上の場合、収縮目地(V型カット)を入れているか	一般事項
	59	杭基礎の場合、杭頭鉄筋との関係は妥当か	IV P284 道示及び杭基礎設計便覧に基づき算定
	60	主要点の平面座標を表示しているか	一般事項
設計計算書と図面の照査	61	パラペットの主鉄筋(軸方向筋)は、前面と背面の鉄筋を同一(径、間隔)としているか	『土木構造物設計マニュアル(案) H11.11 / 建設省』に準じて、前面と背面の鉄筋を同一(径、間隔)とする
	62	堅壁の前面側鉛直方向鉄筋量は、背面側鉛直方向鉄筋量の1/2以上配置しているか 但し、液状化が生じる地盤上の橋台においては、前面側鉛直方向鉄筋量は、背面側鉛直方向鉄筋量と同じとしているか	IV P100 道示に基づき算定 ※引張側鉄筋は構造計算との整合を確認
	63	堅壁の配力鉄筋として、鉛直方向鉄筋量の1/3以上の水平方向鉄筋量を鉛直鉄筋の外側に配置しているか	IV P100 道示に基づき算定
	64	フーチングの圧縮鉄筋は、主鉄筋の1/2以上の鉄筋量を配置しているか	IV P142 道示に基づき算定 ※引張側鉄筋は構造計算との整合を確認
	65	フーチングの配力鉄筋は、主鉄筋及び圧縮鉄筋それぞれの1/3以上配置しているか	IV P142 道示に基づき算定
	66	翼壁の鉄筋は計算書と整合が取れているか(計算区間)	構造計算を確認 ※ウイング水平主鉄筋はパラペット配力鉄筋に定着させているか確認が必要
	67	設計計算書と図面の照合は取れているか	部材寸法、鉄筋径等を構造計算にて確認
	68	翼壁鉄筋の定着長は規定通り確保できているか(胸壁部と堅壁部)	III P76 道示に基づき算定
	69	コンクリート1m3当たりの鉄筋量は妥当か	一般事項
	70	地盤傾斜等の条件によって橋軸直角方向の安定性の照査の必要はないか	地盤条件や幅員構成など安定照査の必要性の確認が必要
	71	橋台背面アプローチの設計は適切に行われているか。 (橋台との連続性・安定性・排水性)	IV P156 裏込め排水処理や橋台巻き込み処理等を確認
	72	維持管理に配慮した形状としているか。 (橋座の排水勾配、橋台背面水抜き、桁側点検空間の確保など)	各基準に基づき設定 ※発注者によって異なるため確認が必要